

実施クラス	実施日	実施保育者名
4.5 歳児 サンフラワー・コスモス 組	11 月 5・28 日 ( 水・金 )	ロベス 亜由美

## ● 実施計画

活動テーマ	
色ってなに？	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
自分の好きな色があり、他児の好きな色、家族の好きな色もよく知っている。また、英語で色の名前を言うことも多く見られることから「色」が子ども達にとって身近なものであると考え、今回活動のテーマに定めた。	
活動スケジュール	環境設定 ・ 準備物
時間	内容
11月5日 10:00 ～ 10:30	(4歳児)【探究活動】 ・好きな色を日本語で発表する。 ・好きな色を英語で発表する。 ・9色の折り紙を使って、自分の好きなようにちぎり、白い紙に貼り付ける。 ・完成したものにタイトルをつけ発表する。
11月28日 13:05 ～ 14:00	(5歳児)【探究活動】 ・用意した折り紙を見ながら各色英語で言ってみる。 ・<グループ活動> グループで1つ折り紙を使ったアート作品を作る。 ●自分の好きな2色の折り紙を選ぶ。 ●何を作るか相談せず、切ったりちぎったりした折り紙を画用紙に貼っていく。 ●グループで相談し、完成した作品にタイトルをつける。 ●グループごとに前に出て、 ”I like BLUE and RED”のように好きな色を英語で1人ずつ言い、グループで決めたタイトルも発表する。
	【環境】 ・折り紙を配布する際に1色1色意識できるようにテーブルの配置を工夫する。 ・発表しやすい雰囲気づくりをする。 ・ ・ 【準備物】 ・9色の折り紙 ・白画用紙 ・ ・ ・ 【環境】 ・活動の内容をホワイトボードにわかりやすく書き出していく。 ・発表しやすい雰囲気づくりをする。 【準備物】 ・ホワイトボード ・折り紙 ・画用紙 ・ipad ・パパッと英語タブレット ・モニター

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>【4歳児】            ・好きな色を日本語と英語で言ってみる。英名がわからない時には調べる。            ・英名を言いながら9色の折り紙を1色ずつ取る。            ・自分の好きなように折り紙をちぎり、画用紙に貼っていく。出来上がったものに名前を付け、発表する。</p> <p>【5歳児】            ・用意した折り紙の中から自分の好きな2色を選び、グループで1つの作品を作る。            ・制作中はグループで相談せず、自分の好きなようにちぎったり、ハサミで切ったりして画用紙に貼り付けていく。            ・完成したらグループでタイトルをつける。            ・グループごとに前に出て、自分が選んだ2色を英語で発表し、その後作品のタイトルを発表する。</p> <p>【パパと英語】4・5歳児            ・色の英名を知る。・story timeで簡単な英単語を知り、言ってみる。・体操をし簡単な動詞を覚える。</p>	<p>【4歳児】            色の英名を言う際は得意げな顔をし、知っていることを誇らしく思うような様子があった。作品作りは、初めからこんな形にしよう決めてちぎる子もいれば、ランダムにちぎってランダムに貼っていく子、画用紙全部をタイルのように埋めていく子と個性が出ていた。</p> <p>【5歳児】            制作中は相談せずに進め、出来上がったものにタイトルをつけるということに最初は戸惑う様子もあったが、慣れてくると他児が貼った上に自分で切った形を重ねていくことを楽しんだり、無言であつても一つの形を協力して作ることもあった。英語活動として”I like～”のフレーズを取り入れ「便利な言葉なんだよ」と伝えると、色を食べ物に変えて言い、「これでもいいの?」と言いかえを楽しんでいた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>色は英名も聞き慣れており、子ども達にとって生活の中でも身近なものということを確認した。今回は色々な色に触れて「色」を一人で、複数で楽しめる時間になるよう心掛けながら進行していった。正解のないオリジナルの作品が完成し、他児や他グループの作品に対し自分の感想を持っていた。制作中、使っている色を英語で言いながら進めていた。5歳児クラスでは、ただ色の英名を言うだけでなく、“I like～”のフレーズを伝えたことで色だけでなく、自分たちでアレンジして食べ物やキャラクターにする姿もあった。緊張しながらも人前で英語を話せたという思いが自信に繋がっているようにも感じた。</p>	<p>色に関する英単語はわかりやすくなじみのある聞きなれたものもあり、子どもにとって親しみやすい題材であったと思う。作品作りもどんなものが出来上がっていくかの課程をたのしみながら変化していく様子も自分の手の動きと表現したいものが目の前に完成品として残っていくことも充実感のある内容であったと感じる。</p> <p>新しい表現を言うて見ることが好きな年齢の子供にとって”I like”を伝えられたことは大きな喜びになって自信にもなったと感じ、良い取り組みになったと思う。</p>